

「過ごしたい場所で過ごしたい人と最期を過ごす」を叶える コロナの時期の在宅ケア

日時：2021年12月7日(火)13:00－15:00

オンライン会議システムを利用して開催します

講師：秋山正子 氏

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 統括所長, 暮らしの保健室 室長
NPO法人maggie's tokyo 共同代表・センター長

『コロナ禍の中では、「家に帰りたい」と希望したけれどすぐには叶えられず、断念した人もいたのではないのでしょうか。逆に、コロナ禍だからこそ、「家に帰りたい」を叶えられたケースもあったことでしょう。コロナ禍は、さまざまなことを従来のように行っていくのが難しくなりました。そうした「危機」の状態に陥ると、人々は思わぬ力を発揮し、整っていないサービス体制であっても何かしらの工夫で本人の希望を叶えてしまうこともあります。このようなことが起こる地域は、地域の多職種の連携が、「ちょっと無理が効くお互い様の関係」に育っていることが前提としてあるように思っています』。コロナの時期の在宅ケアの実例から、「過ごしたい場所で過ごしたい人と最期を過ごす」を叶えるためにできることを考えてみたいと思います。

<講師プロフィール>

秋田県出身。1973年聖路加看護大学卒業。産婦人科病棟にて臨床経験後、看護教育に従事。1992年より訪問看護に携わる。2001年株式会社ケアーズ設立。白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長として現場を訪問する傍ら、介護サービス事業者協会や地域看護業務連絡会の委員を務める。また看護学部非常勤務講師、30年後の医療の姿を考える会会長、NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長。

著書に「在宅ケアの不思議な力」「在宅ケアのつながる力」「つながる・つくりだす・ささえる在宅現場の地域包括ケア」(医学書院)など。患者や高齢者または、障がい者など社会的に不利な立場にあり、援助を必要としている方々のケアのために特別な努力をされた人に贈られるHealth Society 賞受賞(平成23年度)。フローレンス・ナイチンゲール記章受章(令和元年)

参加費：無料

申し込み：以下のフォームからお願いします。

<https://forms.gle/PAJ8nvSzhuXKvySK8>



お問い合わせ：三重大学大学院医学系研究科看護学専攻がん看護学分野(坂口美和)

e-mail miwasaka@med.mie-u.ac.jp